

パブリックコメント実施結果

意見募集期間：令和7年2月18日～令和7年3月7日
意見を提出した人数：3名
意見数：5件

番号	意見概要	市の考え方
1	敦賀市看護大学の大学生に聞き取りした際の意見です。特に②、③については学生からの意見が多かったのでダイヤを決める際に検討をお願いしたい。 ①バスの利用については、運行本数が限られているため利用しづらい現状がある。ただし、悪天候時にはとても助かる。 ②3限目が終わった後に都合のいいバスがない。 （3限目 13：20～14：50） ③授業時間に合わせたバスの運行があればさらにバスを利用してみたいと思う。	
2	32 ページ「公共交通のニーズ把握」と「鉄道やバスの連携強化」について、大学生の意見も考慮に入れていただきたいと思います。 ・「鉄道やバスの連携強化」についてJR 北陸線の日中ダイヤの敦賀駅毎時15分着の電車で通学する学生がいます。看護大学に出向くためには「中央線」（松原線、栗野沓見線もあります）への乗車となりますが、中央線は11 時と12 時が電車到着と同時刻の発車のため乗車できず、栗野沓見線は11, 12 時台が無く、松原線が11 時50 分発のみです。特に12 時台は運動公園方面へのバスが無いため、午後から講義という学生にとって、かなり早い時間の移動を強いられます。これはあくまでも一例ですが、夕方も同様の状況があると聞いています。 近隣の学校の事情等もあるかと思いますが、ぜひとも鉄道事業者との連携を深めて、ダイヤの適正化をご検討下さい。	バスのダイヤや本数につきましては、多くのご要望をいただいております。支援も含め限られた車両数や運転手数の中で可能な限りの本数確保に努めています。 本計画では、鉄道事業者、バス事業者と連携してバスダイヤの設定を検討、調整することとしております。 （32 頁 施策④）
3	大学前のバス待合所は照明がなく、夜間（特に冬季）暗い。	本計画では言及していませんが、いただきました御意見は道路管理者と共有させていただきます。
4	事情が許すならば、コミュニティバスとスクールバスが一体的な運行を行い、朝・昼・夕の一部に角鹿中バス停を新設し、学校経由の運行をしても良いかと考えます。多くの住民がコミュニティバスに馴染むにはスクールバスとコミュニティバスを分けるのではなく、「住民の足」になっていただきたいと思います。 バスロケーションシステムがあることで、朝・昼・夕方と児童生徒の登下校の見守り（安全安心）にも繋がります。持続可能な公共交通と登下校システムが上手に融合できることを期待しています。	コミュニティバスとスクールバスの一体的な運行は、児童生徒の保護者のご理解も必要となってきます。 本計画では言及していませんが、教育委員会とご意見を共有させていただき、今後のバス運行の参考とさせていただきます。
5	「公共交通のニーズ把握」においても、看護大学学生は、新幹線・ハピライン・北陸線・小浜線からの通学、雨の日のみ利用、実習施設に出向くために利用など、対象者が細分化されています。アンケートでは拾いにくいことも有るので、多様なデマンドに応じた調査等のご検討をお願いします。	現在のバス運行に追加した形でのデマンド運行に関しましては、費用が大幅に増加することから現時点では困難と考えていますが、交通弱者等に対する支援は検討しております。 （34 頁 施策⑨） いただきましたご意見は今後の参考とさせていただきます。